

---

## その他：試験研究機関の改革

- ポイント1      これからの本県農業に貢献する研究
- ポイント2      総合力を発揮できる実施体制を整備
- ポイント3      各研究機関や企業力を結集
- ポイント4      充実した試験研究施設等を有効活用

# 試験研究改革の4つのポイント

○次の4つのポイントから、「スピード感」を持って試験研究に取り組み、「着実な成果」を出し、「県民に貢献」します。

- ①市場性の高い本県オリジナル品目や大きな生産振興につながる次世代生産技術等、これからの本県農業に貢献する研究を重点的に進めます。
- ②プロジェクトチーム制を導入するほか、外部人材も活用し、試験研究機関としての総合力を発揮できる体制とします。また、研究員の育成を積極的に進めます。
- ③産学官共同研究にも積極的に取り組むなど、企業や各研究機関の力を結集します。
- ④今回の改革にあわせて充実する施設・設備等は、新規就農者等の人材育成や実践的相談にも活用します。

## 【これからの本県農業に貢献する研究】

### ○市場性の高い本県オリジナル品目

品目名(例)	特徴
ポストこしひかり (農業試験場)	「味よし」、「姿よし」、「体によし」で安定した収量を確保できる品種として平成29年に品種登録出願を目指す
オールふくいの大吟醸酒 (食品加工研究所)	地元酒造メーカーと共同で新たな酒米用の新酵母を開発し、地元酒造メーカーと共同でふくい100%の高級大吟醸酒を製造
スペシャルミディトマト (園芸研究センター)	嶺南地域のICTを活用した大規模施設園芸産地化にあわせ、カラフルで高糖度の品種を開発
スペシャル若狭牛 (畜産試験場)	オレイン酸やアミノ酸、イノシン酸等の成分が高まる飼料給与や飼養管理技術を開発

### ○大きな生産振興に繋がる次世代生産技術

- ・誰でも農薬と化学肥料を50%以上削減できる栽培管理技術
- ・スマート園芸栽培技術
- ・生乳の健康機能性を高める技術
- ・天然由来の健康機能性等の成分を抽出する技術 等

## 【充実した試験研究施設等を有効活用】

### ○園芸研究センター

- ・スマート園芸研究施設を新規就農者育成や県内企業の共同研究に活用 等



## 【総合力を発揮できる実施体制を整備】

- 外部人材の活用
  - ・任期付研究員、外部アドバイザー 等
- プロジェクトチーム制
- 研究員の育成
  - ・研究スペシャリストの育成
  - ・予備試験等チャレンジ研究の導入 等

## 【各研究機関や企業の力を結集】

- 産学官共同研究の推進
  - ・準備期間から共同で着手
  - ・農林水産以外の分野とも共働
- 食品加工研究所を他研究機関の研究や6次産業化に活用
  - ・成分分析技術、加工技術等を活用
  - ・6次産業化サポートセンター